



サイトにアクセス!
オフィスの動画や
インタビューも視聴できます。



Quality of Life の 向上に貢献する 「幸働の庭」 こうどう

1

AGENDA

合併の効果を最大限に発揮させたい

2019年4月に、三井住友アセットマネジメントと大和住銀投信投資顧問の合併により発足した会社であり、その合併効果を最大限に発揮するためにオフィスを統合。新しいオフィスのコンセプトは、「社会・顧客・社員のQuality of Life (QOL) の向上」でした。

2

APPROACH

集中と交流を重視する傾向を把握

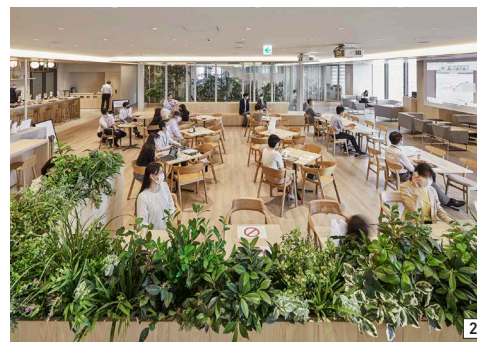
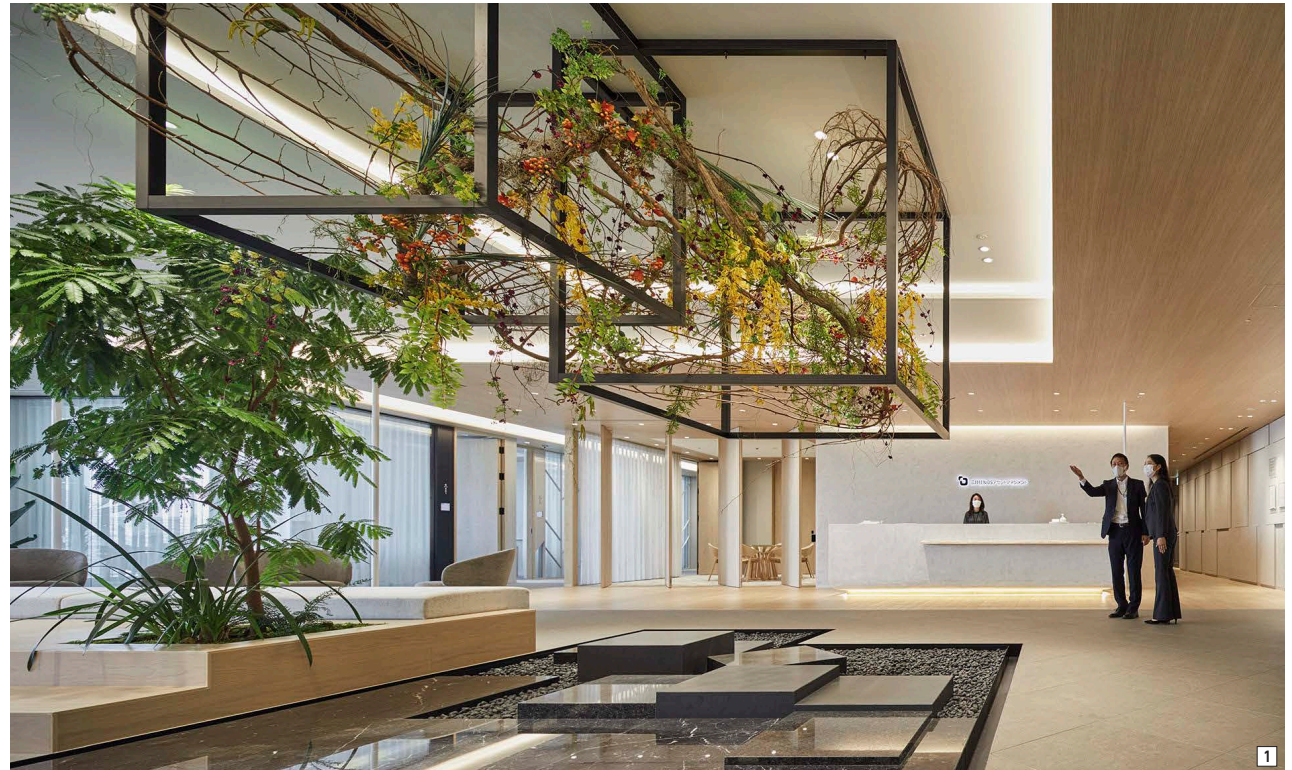
執務エリアでは、まず自席を確保した上で、業務内容に応じて働く場を選べるABWの要素を加えた「自席+α」をベースに空間を構築。これは、移転前の在席率などの調査やアンケートで、自席での集中した作業とチーム内でのコミュニケーションを重視する傾向を把握したことから導き出されました。

3

SOLUTION

幸せに働くきっかけを創出する「庭」

デザインコンセプトは「幸働の庭」。目指すべきQOLの象徴として、「庭」を視覚的かつ機能的なモチーフとしてデザインを構築しました。「庭」は豊かさの象徴であり、生活の一部でもある。だからこそオフィスで、幸せに働くきっかけを創り出せる、みんなの庭にしました。



① グローバル企業として目指す姿を体現した、来客フロアの受付エントランス。日本の木造建築の豊かさを取り入れた、「和」を発信する庭のような空間であり、海外からの来客も多い。② 執務フロア中央の内階段の隣に設けられた「コミュニケーションエリア」。ランチや簡単な打ち合わせ、社内の勉強会など多目的に利用され、新しいビジネスやサービスを創出することを目指している。③ 内階段がフロア間の自由な往来を実現。オフィス内の回遊性を高めている。

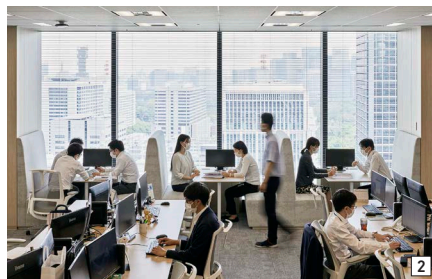
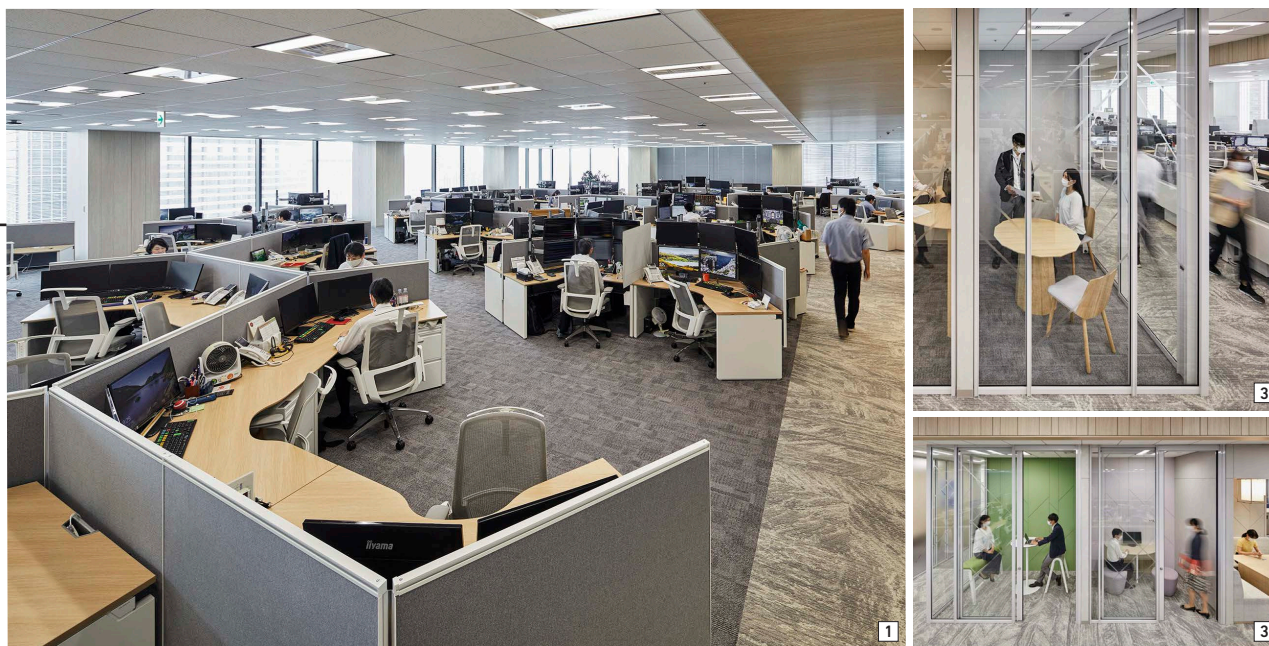
新しいオフィスで 社員の QOL を高め お客さまや社会の QOL 向上へとつなげていく

部門ごとのワークスタイルに合わせて最適化

スピーディーな意思決定を実現するためのミーティングスペースや、社員同士のコミュニケーションを活発化させるレイアウトに工夫を凝らしました。また、部門ごとのワークスタイルに合わせて、オフィス家具やレイアウトを最適化。25Fの運用部門ではPC作業もしやすい120°デスクを、24Fの営業部門ではオープンなロングデスクをメインに導入し、将来的なフリーアドレスへの移行も可能としています。

DATA

所在地	東京都港区虎ノ門1-17-1 虎ノ門ヒルズビジネスタワー24~27F
オフィス対象面積	約10,500㎡
オフィス対象人員	約1,000名
インテリア竣工	2020年7月
プロジェクトマネジメント	森ビル
オフィスデザイン監修・特殊エリア設計	SIGNAL
オフィス設計・デザイン	オカムラ (岩坂 知実)



① 運用部門の執務エリアでは、120°のブーメラン型デスクやデスクトップパネルを採用。部門の特性に合わせた働きやすい空間を構築している。② 営業部門を中心とした執務エリアでは、フラットでオープンなロングデスクなどを採用。窓側にはファミレスタイプの席も設けられ、気軽に打ち合わせが行える。③ 執務エリア内の至るところに37カ所も設けられた「1on1ミーティング」と呼ばれるセミクローズの空間。WEB会議や上司と部下との面談、集中したい時など、幅広く活用されている。④ 顧客に対して質の高い動画コンテンツをタイムリーに提供する本格的な「スタジオ」。⑤ 窓側の心地よいロケーションが社員のために開放され、リフレッシュしたり、気分を変えて仕事をするなど、さまざまな使い方がなされている。奥に見えるのは、立ち会議室。